



新聞圖會

第 九七

堺の町小鬼面山の栄吉

とて伯父鬼面山の跡を

つぎ素人角力をもとめて願ふ

義氣あつる者ありしが同所の者

口論を仕出し既小又傷ふもな

べきと紀及の熊五郎と云者

仲人へ入つて事なき治り

居し

七月三日

午後十時

栄吉新地

の茶屋

居る

処へ

荒武者共

十四五人

得物を



新報

八民善治
あり平三

